

# 大分県高校入試の出題傾向を徹底分析して作った GODO高校入試攻略スタディ

## 国語

### 第一回 漢字・熟語・語句の意味

#### 【基本問題】

一・次の(1)～(10)の傍線の部分について、漢字の読みをひらがなで書け。

- |                     |                |
|---------------------|----------------|
| (1) 栄養の偏りを心配する。     | (2) 首の汗を拭う。    |
| (3) 時代を遡る。          | (4) ジレンマに陥る。   |
| (5) 返済が滞る。          | (6) 頻繁に買い物に行く。 |
| (7) 雰囲気明るい。         | (8) 日和をうかがう。   |
| (9) 神仏の化身のように感じられる。 | (10) 僅差で勝利した。  |

二・次の(1)～(10)の傍線の部分について、カタカナを漢字で書け。

- |                    |                  |
|--------------------|------------------|
| (1) 楽しみで心がハズむ。     | (2) 次の工程をハブく。    |
| (3) 世界イサンを巡る。      | (4) 子孫ハンエイを願う。   |
| (5) 社員のハイゾクを決める。   | (6) カイシュウ工事が終わる。 |
| (7) 約束をワスれる。       | (8) 魚をムして食べる。    |
| (9) 面白い映画にムチュウになる。 | (10) 朝にごみをスてる。   |

三・次の(1)～(6)の読みが同じで意味が異なる傍線の部分について、カタカナを漢字で書け。

- |                       |                    |
|-----------------------|--------------------|
| (1) ① 運動のシュウカンをつける。   | ② シュウカン誌を買う。       |
| (2) ① 素晴らしい才能にカンシンする。 | ② 恐竜の生態にカンシンを示す。   |
| (3) ① 新しい部署にイドウする。    | ② 隣の町に車でイドウする。     |
| (4) ① キセイ品を買う。        | ② 交通キセイで通行止めになる。   |
| (5) ① 話のシュウシュウがつかない。  | ② 情報シュウシュウを念入りにする。 |

(6)① イガイな結末に驚く。

② 私イガイは参加するようだ。

四・次の(1)～(8)の( )の中に入る適当な漢字を語群Ⅰの中から一つずつ選び、書き入れて慣用句を完成させよ。また、それぞれの慣用句の意味を語群Ⅱから一つずつ選び、記号で書け。

(1) ( ) であしらう (2) ( ) の居所が悪い

(3) ( ) に覚えがある (4) ( ) を割る

(5) ( ) が置けない (6) ( ) を並べる

(7) ( ) に汗を握る (8) ( ) が痛い

(語群Ⅰ) (腕 気 頭 鼻 虫 耳 首 腹 手 肩 )

(語群Ⅱ) ア 相手の言葉に取り合わず、冷たく扱うこと。

イ 気配りや遠慮が必要なく、心から打ち解けられること。

ウ 隠し事をせず、すべてをさらけ出すこと。

エ 他人の言葉が自分の欠点をつき、聞くのがつらいこと。

オ 相手と実力や地位が同等であること。

カ 見聞きすることに、緊張したり興奮したりすること。

キ 少しのことでさえも気に障る、機嫌が悪いさま。

ク 自分の実力に自信があること。

【基本問題・解答例】

一. (1) かたよ

(2) ぬぐ

(3) さかのぼ

(4) おちい

(5) とどこお

(6) ひんぱん

(7) ふんいき

(8) ひより

(9) けしん

(10) きんさ

二. (1) 弾

(2) 省

(3) 遺産

(4) 繁荣

(5) 配属

(6) 改修

(7) 忘

(8) 蒸

(9) 夢中

(10) 捨・棄

三. (1) ① 習慣

(2) ① 感心

(3) ① 異動

(4) ① 既製

(5) ① 收拾

(6) ① 意外

四. (1) 鼻 ア

(2) 虫 キ

(3) 腕 ク

(4) 腹 ウ

(5) 気 イ

(6) 肩 オ

(7) 手 カ

(8) 耳 エ

② 週刊  
② 関心  
② 移動  
② 規制  
② 収集  
② 以外

【基本問題・解説】

一. 漢字の読み

漢字は読み書きともに、全国の公立高校入試分析をもとに出題頻度の高いものを選びました。意味とあわせてしっかり覚えましょう。

(8) 「日和」は、「熟字訓」。熟字訓とは、二字以上の漢字からなる熟字を訓読みにすることです。「五月雨（さみ

だれ)」、「海原(うなばら)」、「山車(だし)」、「田舎(いなか)」などです。

## 二・漢字の書き

(4) 「繁榮」は、「豊かに栄える」という意味です。

(8) 「蒸」は、「丞」を「水」と書き間違えないように注意しましょう。

(10) 「捨」は、「拾」と間違えないように注意しましょう。

三・同じ読みでも意味が異なる熟語「同音異義語」、同じ読みでも意味が異なる漢字「同訓異字」・「同音異字」は間違いやすいため、単に漢字の書き取りだけの学習にはせず、意味も理解しておきましょう。「同訓異字」は、例えば「あう」を「会う」「合う」などと書き分けるように、一つの訓読みに対して、複数の意味の漢字の書き方が存在している言葉です。「同音異字」は、例えば、「タイショウ」を「対象」「対照」「対称」などと書き分けるように、音(音読み)に対して、複数の意味の漢字の書き方が存在している言葉です。

(3) 職場における地位や勤務地が変わる場合は「異動」、物や人が今存在する場所から別の場所へと移る場合は「移動」を用います。

四・慣用句は文章中にしばしばみられます。語い力をつける意味でもしっかりと学習しておきましょう。

(例)・身に余る(身分につりあわない)

・念を押す(重ねて注意する)

・目を見張る(感心したり驚いたりする)

・言葉を濁す(あいまいな言葉でごまかす)